



皆への
贈り物となるよう
造られた。

“あなたにゆだねられて
いる良いものを、私たちの
内に住まわれる聖霊に
よって守りなさい”
(デモテへの手紙二1章14節)。

私たちは一人ひとり、
聖霊の「神殿」です。聖霊は
たくさんの「良いもの」を
私たちに託しました。
私たちはこれらの良いものを
育て、人々のために活かす
よう呼ばれています。

その貴重な「良いもの」
のうち一番大切なものは
主イエスへの信仰です。
私たち一人ひとりに対し
てイエスが持っている、
無限大の愛を信じること。

もう一つイエスから
受け取った、
かけがえのない宝物は、
**イエスの言葉、
神のみ言葉です。**



この賜物を受け取った
私たちには、
大きな責任があります。
神がみ言葉を下さったのは、
私たちが実りを
もたらすためだからです。

どのみ言葉を実践しても、
実りはいつも同じです。
私たちの生活を変え、
人の必要に敏感になり、
周りの人—兄弟姉妹—に
奉仕するよう、
心が促されます。

必然的にそうなるのです。
イエスのみ言葉という
賜物を受け入れて、
それを生きるなら、
私たちのなかに
イエスが生まれ、
イエスのようにふるまう
ようになるからです。

切って折ると、今月持ち運びができるカードになるよ！

行動にうつしてみよう



「人は皆、遣わされて
おり、そのために
地上に生きている」

カトリック教会では
2019年10月を
「福音宣教のための
特別月間」
と定めています。

私たちが新たな意識
を持って、信仰を
証しするよう努力する
機会となるでしょう。
福音からもたらされる
愛によって開かれた
広い心で、私たちは
人々と出会い、
受け入れ合い、
対話していきましょう。

[www.october2019.va/it/
mmsott2019.html](http://www.october2019.va/it/mmsott2019.html)



一致をめざす少年少女
(Teens4Unity)
国際事務局による編集済

www.teens4unity.org

僕らの経験：

僕の町は、
いじめや暴力が毎日の
ように起こっている。
大抵、より弱そうに
見える者が被害者になる。

僕の学校でも
同じ状況だ。



クラスの男子が一人、
暴力的な
いじめに遭って
苦しんでいた。

彼がいじめられているのを見るのはつらかった。
でも僕が何かできるとは思えなかった。

ある日ののちの言葉を読んだら、「ほかの人の悩みを心にかける」とあり、この同級生のことを思うようになった。

僕も自分の行動を改めなければいけないと分かった。

イエスが、み言葉を通して、あの同級生に対する自分の態度を変えるように、と呼びかけるのを感じた。

僕は彼の宿題、特に自分の得意な理系科目を手伝うことにした。

でもそれだけでは充分ではなかった

クラス全体が、

いろんな活動の輪に彼を入れてあげる

ようにしなければならなかった。



みんなの前で彼の味方をしなければならぬシチュエーションもよくあったけども、びっくりしたのは、数週間の間、他のクラスメートたちも態度が変わってきて、今ではたくさん仲間が増えた。
それに、級友たちのいい面もたくさん発見できた。

コンゴのR.